

平成27年度 第2回経営協議会議事録

日 時 平成27年6月26日（金）14時00分～16時20分

場 所 附属図書館分館・学生支援棟 3階大会議室

出席者 石川、伊藤、大石、塩田、杉田、野田、晝馬

伊東幸、石井、東郷、前田、丹沢、伊東暁、鈴木の各委員

欠席者 岡部、川勝、木村の各委員

陪席者 柳澤副学長

鈴木、櫻本の各監事

阿部、中村の各学長補佐

I 前回議事録の承認について

平成27年度第1回経営協議会議事録（案）を原案どおり承認した。

II 審議事項

1 「静岡大学外国人学生規程第11条第2項の規定に基づき、学長が特に必要と認める授業料等の不徴収について」の一部改正について

石井委員から、工学部秋季入学特別プログラム（N I F E E コース）を卒業後、自己推薦型入試で総合科学技術研究科工学専攻に進学する学生への対応に係る「静岡大学外国人学生規程第11条第2項の規定に基づき、学長が特に必要と認める授業料等の不徴収について」の一部改正について、資料1により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

2 平成26年度決算について

前田委員から、平成26年度決算の概要について、資料2により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

3 平成28年度概算要求について

前田委員から、平成28年度の概算要求に係る本学の機能強化の取組構想及び各要求事項について、資料3により説明があり、併せて、同委員から、6月15日に提示された「第3期中期目標期間における国立大学法人運営費交付金の在り方について 審議まとめ」及び6月16日に提示された「国立大学経営力戦略」の要旨について説明があった。

なお、同委員から、本件については、今後調整の上、メール審議により改めて提案・審議願いたい旨の依頼があった。

(学外委員から出された主な意見)

〔Ⓔ：学外委員の意見等 △：本学側の意見・説明等〕

Ⓔ：大学改革推進係数の見直しにより、どの程度の規模の予算が確保され、その資源が各重点支援にどの様に配分されるのか。

△：正確には把握できていないが、係数については、概ね3%程度になるのではないかと考えている。なお、各重点支援への配分については、各重点支援内で集積された予算が重点支援の枠組みを超えて配分されることはないと思われる。

Ⓔ：本学は重点支援①の枠組みによる配分を目指すのか。他大学の状況は如何に。

△：文部科学省との面談においても問われたが、重点支援①で進める予定である。各大学における重点支援の枠組みの選択については、旧帝国大学群が重点支援③を選択することとなるが、所謂「旧官立大学」の一部の大学においては、重点支援①又は③のいずれかを選択するのか決めかねている様である。

4 平成26事業年度に係る業務の実績に関する報告書について

東郷委員から、平成26事業年度に係る業務の実績に関する報告書の概要について、資料4により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

5 機関別認証評価自己評価書について

東郷委員から、機関別認証評価自己評価書の概要及び今後のスケジュールについて、資料5により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

(学外委員から出された主な意見)

〔Ⓔ：学外委員の意見等 △：本学側の意見・説明等〕

Ⓔ：英語教育を充実するための具体策はあるのか。なお、授業アンケート結果から学生の自己評価や教員への評価が上がっていることは、授業改善を行ってきた成果であり、非常に喜ばしいことである。教育学部のアンケート回収率が若干低いことが気になる。

△：英語の成績が芳しくない1年生に平成25年度から補修授業を開始した。その成果がTOEIC平均得点の上昇に表れている。また、ABPプログラムにより英語の授業も増加することとなる。今後、英語の授業を更に増やしていくかどうかについては、状況を見ながら判断したい。

△：就職先における東海地区の他大学卒業生の英語の能力評価については、本学とほぼ同様の結果である。

Ⓔ：執行部と現場教職員との意思疎通が重要である。学長が考えるビジョンや今後の方向性等について、少なくとも全体の7割以上が理解及び共有していることが望ましい。

△：各部局の教授会等に執行部が出向き、平成29年度に予定している大学院改組

の意義や必要性等について説明することを始めている。今後、センター等へも行う予定である。

6 第3期中期目標・中期計画の素案について

東郷委員から、本学における第3期中期目標・中期計画の素案について、6月8日付けで文部科学大臣から示された「国立大学法人等の組織及び業務全般の見直しについて」を踏まえて、資料6により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

また、同委員から、今後のスケジュールについて、席上配布資料に基づき、補足説明があった。

7 「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」の申請について

議長及び阿部広報・社会連携担当学長補佐から、「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」の申請概要について、資料7により説明があり、審議の結果、同申請に係る方向性について承認した。

（学外委員から出された主な意見）

〔Ⓔ：学外委員の意見等 △：本学側の意見・説明等〕

Ⓔ：COC+の事業に求められる要求は高く、本事業を円滑に進めるためには、「COC+推進コーディネーター」の役割が重要と思われるが、どのような人選をお考えか。

△：現状では、県の担当者等を考えている。

Ⓔ：人選について協力することも出来るため、必要であればお声掛け願いたい。

△：人口流出の問題を踏まえれば、本事業は、静岡県にとって不可欠なものとなるため、採択に向けて尽力したい。

Ⅲ 報告事項

1 平成26年度監事業務監査改善要望事項に対する役員会の基本方針について

東郷委員から、平成26年度監事業務監査改善要望事項に対する役員会の基本方針について、資料8により報告があった。

2 学士課程改組に係る事前伺いの結果について

石井委員から、平成28年度の学士課程改組に係る事前伺いの結果及び文部科学省からの要請を踏まえた平成28年4月1日の学生収容定員の調整状況について、資料9により報告があった。

3 平成27年3月卒業・修了者の進路状況について

丹沢委員から、平成27年3月卒業・修了者の進路状況及び就職支援状況について、資料10により報告があり、昨年度との比較及び同系列の他大学との検証結果につい

て、説明があった。

4 学長選考会議における検討状況について

塩田委員から、学長選考会議における検討状況について、今年度に入り、現学長等に対して、学長に求められる役割や学長選考基準の在り方等に関して、意見交換を行った旨の報告があり、今後、監事の協力を得て、学長の選考基準や業績評価の方法等について、審議を進める予定である旨の説明があった。

IV その他

1 静岡大学関連新聞記事について

議長から、静岡大学に関連する新聞記事について、参考資料により紹介があった。

以 上